

『本願寺 名古屋別院』

全国の別院シリーズ その11

室町時代の明応年間（1500年頃）に、本願寺第8代蓮如上人の第13子蓮淳師（1464～1550）が伊勢国桑名郡長島杉江に創立された願証寺をその起源とする。

当時、長島は木曾三川（揖斐川・長良川・木曾川）の交わる交通の要所であり、願証寺は伊勢・尾張両国の淨土真宗繁昌の中心であった。



1876（明治9）年6月、名古屋御坊と称したもの、「本願寺名古屋別院」と改称し、境内建物も逐次整備され、全国有数の別院として発展した。

しかし、第2次世界大戦の末期、1945（昭和20）年5月17日、空襲にあい、鐘楼等一部の建物を残して、すべての建物が焼失したが別院再建に向けて、名古屋別院ご門徒をはじめ東海教区（愛知・三重両県）の寺院、門信徒の篤い懇念により、1972（昭和47）年4月に現在の印度様式の本堂が立派に建立された。



「仏教婦人会報恩講」（善教寺本堂）

三月十日（金）追悼法要：午後一時半

十一日（土）朝席：午前十時

昼席：午後二時

総会：午後一時半

講師 足利孝之師（兵庫県尼崎市安養寺）

*送迎マイクロバスを運行します。

*仏教婦人会主催法要

*仏婦会員追悼法要・仏婦総会開催

「宗祖聖人月忌・

門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）

三月十六日（木）午後一時半

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「柏原春季彼岸会」（柏原説教堂）

三月二十一日（火）昼席・夕席

二十二日（水）朝席・昼席



講師 藤瀬和亮師（吳市阿賀中央西光寺）

